

道立高等学校の生徒の道内大学への派遣・交流事業（室蘭会場）

1. 目的

道立高等学校の生徒を留学生の在籍する道内大学に派遣し、留学生との英語による交流や、大学の講義の受講、研究室訪問等を通して、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上及び派遣先大学についての理解の深化を図るとともに、国際的な視野を育み、海外と積極的に交流しようとする意欲の向上を図る。

2. 主催

北海道教育委員会、国立大学法人室蘭工業大学

3. 実施時期

令和3年(2021年)9月10日(金)

4. 実施方法

ウェブ会議システムによるオンライン実施（Zoom Meetings）

5. 参加者

全道の道立高等学校5校から10名（1年生9名、2年1名）が参加

6. 日程

	時間	内容
1日目	9:00～ 9:15	開会式・オリエンテーション
	9:15～10:20	ワークショップ
	10:30～12:00	特別講義1「ロボット作り入門」
	12:00～13:10	昼食・休憩
	13:10～14:10	オンラインキャンパスツアー
	16:35～16:45	閉会式

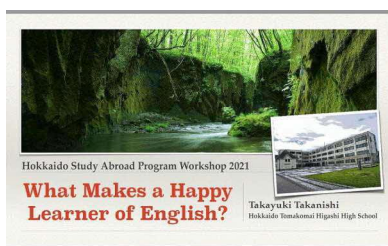
事業の様子

開会式では、主催者である室蘭工業大学及び北海道教育委員会からの挨拶があり、続くオリエンテーションでは、プログラムの目的の確認や参加に当たっての留意事項の説明を行いました。

ワークショップでは、苫小牧東高校の高西先生を講師に迎え、



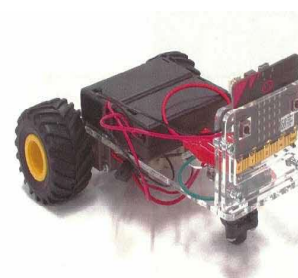
【開会式】



【ワークショップ】

英語力向上のための言語活動を行いました。参加者は、自分の名前の文字を用いた自己紹介活動に取り組むとともに、視聴した動画についてディスカッションを行うなど、英語によるコミュニケーションを楽しみました。参加者からは「他の参加者が話す英語を聞いて、もっと頑張ろうと思った。」「困ったときは助け合い、コミュニケーションを取ることができた。」などの感想がありました。

特別講義1「ロボット作り入門」では、室蘭工業大学もの創造系領域の相津教授によるロボットアリーナの紹介やアシスタント大学生によるYouTube動画を活用したロボットカーの作り方の説明が行われ、参加者はロボットカーの組立てやmicro:bitによるプログラミングに取り組みました。参加者からは「動画やハンドブックがあったので、分かりやすかった」「ロボット作りは初めてで難しいところもあったが、楽しめた」などの感想がありました。



【ロボット作り入門】

オンラインキャンパスツアーでは、室蘭工業大学国際交流センターの小野准教授が講師となり、参加者は施設紹介動画を視聴した後、与えられた課題に取り組みました。課題では、地図を見ながら、留学生を相手に目的地にたどり着くための英会話を実践しました。参加者からは「大学の研究活動がおもしろいと思えた。」「目的地を英語でどのように言えばよいかわからなかったが、施設の特徴を伝えたら理解してもらえた。」などの感想がありました。

特別講義2「国際交流入門」では、室蘭工業大学国際交流センターの小野准教授が講師となり、参加者は留学生とディスカッションを行いました。参加者からは「留学生の方々が優しく接してくれたので、自分の伝えたいことを英語で伝えることができた。」「日本で学ぶ留学生とコミュニケーションを取るとは重要だと思った。」などの感想がありました。

大学院生による留学経験等の講演では、北海道大学情報科学院の有働さんが、フィンランドのオウル大学での留学経験について、英語でプレゼンテーションを行いました。有働さんは、自分の高校時代を紹介するとともに、留学は目的ではなくソフトウェア開発を行うための手段であったことや、常にアクティブであることの重要性を参加者に伝えました。参加者からは「外国でいろいろな体験をしたいと思った。」「自分の進路について、具体的な目標が持てたので、良い機会だった。」などの感想がありました。



【大学院生による留学経験等の講演】

プログラム全体を振り返って、参加者からは「実際に室工大に行くことはできなかったけど、様々な人々と交流でき、良い機会でした。今回は、うまく話せなかった悔しさと次こそはという思いを手に入れることができました。もっと英語力を高められるようにがんばりたいです。」「留学生に様々な人がいたので、とにかく会話することが楽しかった。他校の参加者とも助け合っできた。」「他の高校の人たちや留学生、海外に行ったことのある人たちの話や意見を聞いてとても楽しかったです。自分の英語の改善点も見つけることができ、良い刺激を得られたと思います。今後の英検取得や大学受験につなげたいと思います。」などの感想がありました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面実施からオンライン実施になりましたが、参加者は、英語力の向上や大学の授業等についての理解の深まりを実感することができました。また、実際に留学を経験した先輩方や留学生との出会いを通して、国際交流に対する意欲を高めていました。